

# 「Morebi」

## 再生～森田駅をミニ美術館に（もりた夢駅～冬物語2020）

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 内山 秀樹

11月23日(日)～12月25日(金)まで、森田地区文化委員会との共催で開催された「Morebi」に参加しました。生活デザイン専攻1、2回生22名が出展者として、そのうち2回生3名が卒業研究として企画から実施まで中心的に取り組みました。

当初、マイアクアでの1日開催のイベントを予定していましたが、コロナ禍により自粛せざるを得ない状況になり、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら地域課題の解決につながる企画として生まれたのがこの企画です。

駅をコミュニティ施設としてもっと活用したいという従来からの課題に加え、北陸新幹線開業に伴う在来線第3セクター化後の駅のあり方を探る社会実験としての意義さらには、1ヶ月の展覧会にすることにより来場者を

分散させることが可能で、withコロナ下でのイベントのあり方としても評価できるのでは？ということで、実施に至りました。作品は駅や森田地区をテーマにしたものを住民や森田地区にゆかりのある個人、団体から募集し、最終的に18作品が駅の内外を飾りました。

今回の取り組みを通じて、出展した学生たちは、白紙段階から構想し、形にする事の難しさを学びました。また、中心的に関わった学生は企画を実行するために必要な多くのことを学ぶとともに、連携した地元デザイナーのプロの仕事を目の当たりにして大いに刺激を受けたようでした。また、地元文化委員会からは、今後の駅のあり方として、一つの好事例になったと評価をいただきました。

自治体等との連携事業

もりた夢駅～冬物語2020  
「再生～森田駅をミニ美術館に」

**作品募集** だれでも参加可能

「再生～森田駅をミニ美術館に」とは？  
森田地区では歩いて暮らせるまちづくりとして、公共交通機関の利用促進に取り組みしています。所在路線が新幹線開業により第3セクター化するに伴い、駅を鉄道利用者だけでなく、住民が集い交流するコミュニティ施設として新しく生まれ変わるきっかけにできないかと考えております。そこで「再生～森田駅をミニ美術館に」と題したアートイベントを開催し、駅・森田・鉄道及び人の心の「再生」を目指します。

エントリー期間 10月5日(月)～10月18日(日)  
現地見学会 10月18日(日) 10:00～12:00  
募集期間 11月14日(土)～11月23日(金)  
作品展示期間 11月23日(日)～12月25日(金)  
作品撤去日 12月26日(土)

※参加費 無料(作品にかかる費用は自己負担になります)  
会場 森田駅舎及び駅構内

応募方法  
応募書類と写真、住所、連絡先(メールアドレス)、電話番号を森田公民館にご連絡ください。エントリーシート等の関係資料をお渡しします。

応募先およびお問い合わせ先  
森田公民館 福井県下野田町森田2  
Tel/Fax: 0776-66-0195 E-mail: morita-h@nrrl.fctk.na.jp  
共催: 森田地区文化委員会、仁愛女子短大(協力: 山田グラフィック)

作品募集のチラシを全戸に配布



展示可能空間打ち合わせ (福井地域鉄道部)

森田駅 福井 SNS映え

再生テーマ アート彩り  
住民、仁愛女子短大が共催

2020/12/9 日刊県民福井

福井市下野田町の森田駅。駅舎の内外をアート作品で彩る「再生～森田駅をミニ美術館に」の展示が始まった。地元文化委員会と仁愛女子短大が共催するこのイベントは、駅をコミュニティ施設として生まれ変わるきっかけにしたいという思いで企画された。森田地区文化委員会の代表を務める内山秀樹教授は「駅は、地域に集い交流する場所。駅・森田・鉄道及び人の心の『再生』を目指します」と話す。

森田地区文化委員会の代表を務める内山秀樹教授は「駅は、地域に集い交流する場所。駅・森田・鉄道及び人の心の『再生』を目指します」と話す。

Morebi 紹介記事 (日刊県民福井 2020/12/9)